

## 一般入試

### 【国公立大学の場合】

- ①センター試験（全国共通・一斉）と個別試験（前期・中期・後期）の合算で合否が決まる。
  - ②センター試験の受験科目は、各大学・学部・学科・日程ごとに異なる。  
（5教科7・8科目が主流）
  - ③個別試験の受験科目も各大学・学部・学科・日程ごとに異なる。
  - ④センター試験後に自己採点を行い、出願校を決める。  
（大学が定めた基準点を超えない場合、個別（2次）試験が受験できない「2段階選抜＝足切り」を行う大学あり）
  - ⑤個別試験の前期・後期日程においては、前期日程に定員の比重を置く傾向にあり、後期日程での募集を廃止する大学も増えている。
- 注）国公立大前期日程で合格し入学手続きを完了した場合、後期もしくは中期日程を受験しても合格者とはならない。

### 【私立大学の場合】

- ①各大学独自の個別試験による選抜が主であるが、入試方式は多様化している。
- ②受験科目は「文系→英語・国語・地歴公民（数学）」「理系→数学・理科・英語」の各3教科が基本。（1～2教科もあり）
- ③短大の受験科目は英語・国語の2教科が基本となるが、1教科受験が増加傾向にある。

#### ※入試方式の多様化・・・

- センター試験利用入試 ○全学部統一入試 ○試験日自由選択制 ○受験科目パターンの多様化 → 民間試験の活用（TEAP・GTECなど） ○地方試験の別日程実施 ○3月入試

## 推薦入試

- ①出身高校の校長先生から推薦されることが必要。（一部例外あり）
- ②出身課程、卒業年度、成績基準等、出願条件を満たす者のみ受験できる。
- ③指定校推薦⇒高校内選抜  
公募制推薦・特別推薦（自己推薦・ユニーク推薦）⇒全国選抜
- ④「合格した場合は必ず入学する」←専願制が主流（最近では併願のできる大学も増えている）。
- ⑤調査書の他に、面接や小論文、基礎学力テストなどの結果で総合的な合否判定が行われる。

#### ※成績基準・・・

- 高校3年1学期までの全教科・科目の評定平均値を対象とするのがほとんど。
- 公募制推薦の場合、国公立大ではA段階（5.0～4.3）もしくはB段階（4.2～3.5）以上と基準設定が高く、私立大は 3.5 以上であれば約9割の大学に出願できる。